

高松塚古墳壁画及びキトラ古墳壁画の材料調査について

国立文化財機構 古墳壁画保存対策プロジェクトチーム
材料調査班

○高松塚古墳壁画 西壁3の紫外線デジタルスキャニング



可視光スキャニング



赤外線スキャニング



紫外線スキャニング

○平成 29 年度材料調査予定

- ・高松塚古墳壁画については、適宜、可視分光分析、蛍光分光分析、THz イメージング、およびデジタルスキヤニングを実施する。
- ・キトラ古墳壁画については、分析用治具を最終調整し、可視分光分析、蛍光分光分析、および蛍光 X 線分析を適宜、実施する。また、デジタルスキヤニングの適用について検討する。

○キトラ古墳壁画の泥の下の凶像の検出

- ・実験試料を作製し、X 線透過撮影試験の実験をおこなう。条件が整い次第、別置している漆喰片に対して調査を実施する。

○古墳壁画用 X 線回折装置の開発

- ・分析フレームへの取り付けアタッチメントの作製をおこなう。壁画サンプルに対して、装置の実動試験を実施する。

○蛍光 X 線分析データの編集

- ・これまでに高松塚古墳壁画に対して実施して得られた蛍光 X 線分析データの公開・活用を図るため、出版物としての編集を行う。